

がんばれ 認定農業者!! シリーズ③⑩

さつま町求名

まつお ひでき
松尾 秀樹 さん 45歳



松尾さんは、水稻1.8ha、竹林3.5ha、さといも15aを経営されています。

「栽培技術を構築して、年間を通じたタケノコが生産できるよう自分なりに竹林を整備したい」と話す松尾さん。現在、地域資源である竹林を活かした早掘りタケノコの生産を目指し、竹林の改良を行っています。

松尾さんは「地域では農業者の高齢化が進んでいます。集落営農も考えながら、地域の農業が衰退しないように農業で少しでも地域に貢献していきたい」と話されました。

将来は、タケノコ掘りや米の収穫体験など、消費者と直接つながりが持てる農業に取り組んでみたいそうです。

川内川激特・鶴田ダム再開発速報

さつま町内の、激特事業に関する進捗状況などについて、お知らせします。

1. 激特事業の状況と今後の予定について

現在、計画説明の同意を得られた地区から順次、用地等調査及び調査完了箇所においては用地協議に着手しています。

用地等調査については、虎居地区を含むさつま町内全13箇所中11箇所の用地調査等を平成19年度末で完了しており、残る2箇所についても調査に着手しています。

また、現在用地等調査を完了させた10箇所において用地協議中であり、用地取得が完了した箇所より逐次工事を実施していくこととしています。

なお、大願寺地区においては、必要用地の取得を完了しましたので、今後、工事着手に向けた手続きを進めて参ります。

2. 激特事業工事箇所

- ・二渡地区（山崎大橋上流側築堤約900mの内600m）H20年3月末完成
- ・推込分水路箇所においては、用地未取得箇所を除く樹木伐採を6月末までに完了させており、現在、埋蔵文化財調査を今年度未完了を目途に実施しています。また、分水路開削に伴う掘削土砂の運搬用通路として、川内川に2箇所の仮橋設置工事を実施しています。
- ・穴川橋架け替えに伴い、現橋梁の撤去工事に着手しています。工事期間中の通行など、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

3. 鶴田ダム再開発事業の進捗について

再開発事業は、ダムを運用しながら大規模な施設改良を行う事業です。そのため、詳細な検討を要するもので、現在、設計などの技術的な検討を実施しています。

工事に関しては、平成19年度から工事用道路の測量や用地測量を実施しており、今年度（平成20年度）は、町道平江線を工事用道路として一部拡幅工事を実施する予定です。

今後とも河川事業におけるご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ】 国土交通省 川内川河川事務所 調査課 課長 竹下真治
開発工務課 課長 樋口俊二
☎(0996) 22-3271

男女共同参画社会



さつま町男女いきいき幸せプラン

近年、私たちの生活は多様化しています。家事・育児・介護・地域活動や趣味・・・仕事をしながら○○○をしたいなど、それぞれの事情や活動領域によって様々です。

老若男女あらゆる人々が、様々な活動を自分の希望するバランスで選択・実現でき、一人ひとりがやりがいや充実感あふれる生活を送ることができる、そんな社会の実現を目指しています。

基本目標②

みんなで築く心豊かで住みよい郷づくり
～心づかれあう地域づくりの促進～

『たすけあい・結いの里づくり』

地域活動への参画の促進

何気ない日常生活の中で、老若男女が共に意見を出し合い、ともに責任を担い、参加することは、わたしたちにとって一番身近な男女共同参画社会の実現の場です。

今までも、これからも公民会や地域の活性化に

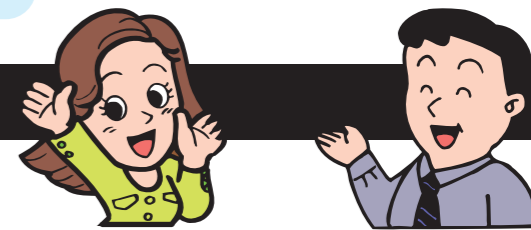
つながるように、地域に昔からある『結いの精神』を大切にして、世代間の交流や地域内の連携を強めることで、介護や子育てなど地域社会全体で支え合う意識が高まるようなくみづくりを促進していきます。

☆男女共同参画関連催し物案内☆
女性に対する暴力の問題に関する講演会
愛するふたりのホットでゆかいな関係
～対等なパートナーシップを求めて～



■日時 11月15日(土)午後1時30分～午後3時30分(午後1時会場)
■場所 かごしま県民交流センター(入場無料)
■講師 宮本博文さん(NPO法人 心のサポートステーション)
■コーディネーター 青木隆子さん(KTS鹿児島テレビ報道部記者)
詳しくは鹿児島県男女共同参画センター
Eメール: harmony@kagoshima-pac.jp

～ つぶやきさんからの質問 ～



つぶやきさん

ささやきさん

つぶやき 社会的性別という言葉聞いた事がありますが、どんな意味ですか？

ささやき 社会的性別（ジェンダー）といいますが、は、長い歴史の中で社会的・文化的社会通念や慣習などで作り上げられた「男性像」「女性像」があって、「男（女）」とはこうあるべき」と決めつけているような性差を示す男性、女性の別のことをいいます。

つぶやき その性差が差別や偏見につながっているのですか？男性・女性とも身体的機能は違いますが「男らしさ、女らしさ」があってもいいんじゃないですか。全てを男女平等に・・・なんて出来ませんよね。

ささやき もちろんです。個人の才能や能力をお互い認め合うことで、大切なのは「あってもいい」と「あってはいけない差別」を見極められるよう意識しておくことです。